



発行
松ヶ崎社会福祉協議会

編集責任者
関 口 力

高齢者を狙う特殊詐欺の被害防止について

下鴨警察署生活安全課 深 江 純 平

高齢者が被害の七割を占める特殊詐欺の被害が止まりません。

京都府内の昨年(平成二十八年)一年間の「振り込め詐欺」など特殊詐欺の被害は、被害件数が一六六件で前年より二件減少、被害総額が約七億四一四四万円の前年より約五三三二万円減少と被害件数、被害総額共に僅かに減少したものの、依然高水準で発生しております。

今年に入ってから被害や予兆電話が多発し、京都府警では、サギ・レッド・アラート(特殊詐欺特別警報)を発令するなどして、行政や金融機関など関係機関と連携した対策を強化しているところです。

【特殊詐欺とは】

特殊詐欺とは、面識のない不特定の人に対して、電話、メール、郵便物などを用いて、対面することなく相手を騙し、○現金を指定する口座に振込ませる方法。○現金などを指定する宛先に宅配便、ゆうパック、バイク便などにより送付させる方法。○家に訪問したり、指定した待ち合わせ場所などで現金などを

【架空請求詐欺】

郵便、インターネットなどを利用して、不特定多数の者に対し、「訴訟関係費用が要である」など架空の事実を口実として料金を請求し、現金をだまし取る手口や以前の被害を取り返すことができないなどと申し向け、返還手続きのための手数料として現金をだまし取る手口。

【還付金等請求詐欺】

電話を利用して、役所の保険担当職員や社会保険事務所の職員を名乗って、医療費や年金の還付に必要な手続きなどと説明し、ATMまで誘導し、携帯電話で被害者にATM機を操作させ、被害者に気付かせないようにして、犯人が使用する口座に現金を振り込ませる手口。

【金融商品等取引名目詐欺】

「必ず儲かる」などと言って、未公開株や社債購入名目で、ニセの社債を送付するなどして現金をだまし取る手口や「あなたしか購入できないので名義を貸してくれ」などと、架空の金融商品取引を持ちかけ、この話に乗った被害者に「名義貸しは違法。トラブルになっている。」などとトラブル解決のための弁護士費用名目で現金をだまし取る手口。

る手口。

などですが、騙し方も昔からある息子や孫を装う手口の被害が後を絶たない反面、年々巧妙化し、その時期その時期で人々が感心を寄せるような言葉、例えば「IPS細胞」、「東京オリンピック」、「マイナンバー」、「熊本地震」などをキーワードとして取り入れるなど多種多様です。

【府内の高齢者被害の現状】

昨年、府内の被害件数一六六件中六十五歳以上の高齢者の被害は一一五件で全体の六十九%と約七割の方が高齢者でした。高齢被害者のうち女性が七十六%、男性が二十四%と高齢女性の被害の割合が非常に多い現状にあります。

また、高齢被害者のうち老人会や地域の団体に参加されていない方の割合が五十四%で、特殊詐欺被害の情報が入りにくい方が多く被害にあわれている反面、残念なことですが警察から直接広報を受けたことがある方が四十七%、被害にあった手口を知っていた方が六十六%と、警察から特殊詐欺の被害防止について話を聞いたり、自分が被害にあった手口を知っていたにもかかわらず、被害にあつてし

まった方も多くあるということです。「自分だけは大丈夫！ 決して被害にあわない。」と思っておられる方も多いようですが、例えばオレオレ詐欺のように、「自分の息子や孫が困っている」ということを聞くと親心のスイッチが入ってしまい冷静な判断・対応が出来なくなってしまうのも事実です。

【被害にあわないための注意点】

- ① 「私もいつ騙されるか分からない。」という危機意識を持つ
- ② 電話でお金 それはサギ！
- ③ 振り込む前・お金を用立てする前に警察・家族に必ず相談！

【下鴨警察署からのお願い】

下鴨警察署では特殊詐欺の被害を根絶するため、管内の金融機関やコンビニエンスストア、宅配業者などにも協力をお願いし、水際の被害防止対策に取り組んでおります。

また、「だまされたふり作戦」などによる犯人の検挙対策も強化しています。「風邪をひいて声がおかしい」「携帯電話の番号が変わった」「キャッシュカードを預かります」など、犯人から不審な電話がかかってきた時が犯人を捕まえる絶好のチャンスです。もしこのような電話がかかってきたら、必ず警察に連絡をしていただき、可能な場合は「だまされたふり作戦」にご協力をお願い致します。

※ 昨年の統計数値については暫定値となります。



十月十八日(火)

百一名の参加のもと、第十九回回敬老会が、アピカルイン京都で盛大に開催されました。司会は、新しく社協の役員に加わって下さった高木一彦様です。

来賓として参加いただきました浅野信行左京区長、岩崎猛彦松ヶ崎自治連合会会長はともに、ご挨拶のなかで、地域の絆の大切さを強調されました。

午前のプログラムは、参加者がすこやか学級で制作なさった飾りうちわを振って迎えるなか、五十六名の元気な松ヶ崎小学校の三年生たちが、ぐるつと会場を囲んで、坂本九さんの歌などをダンスと一緒に披露してくれました。リコーダーの演奏の後は、各テーブルに約六名が分散して、学校で行われている一年生～六年生を交えた縦わりグループの活動について話してくれました。兄弟の少ない昨今、子供たちはこの縦わりグループを大いに楽しんでいくようにしました。

林顧問による乾杯の後、ビールやソフトドリンクをいただきながら、楽しい食事と歓談の時をもちました。

午後からは、全くのボランティアで、あちこちへ出張演奏をされている「なごみ会」の皆様による和楽演奏です。木魚と三味線のコラボ、民謡に歌謡曲、詩吟といろいろなジャンルの歌や演奏を披露していただきました。また客席参加として、博愛会の吉田先生が三味線のお師匠さんとして登場したり、社協の役員の一人在、即席に板前の恰好

をして、「月の法善寺横丁」に合わせ、即興の踊り？を披露したりして多めに会場を沸かせました。最後は、お座敷小唄の替え歌で「ばけな小唄」をみんなまで歌い、アンコールによって「炭坑節」を会場の有志で踊って終わりました。



なごやかな雰囲気の中、慣例の「頭の体操」と「すこやか体操」で閉会となりました。みんなの絆が深まった一日でしたが、この絆を今日参加なさらなかった方々にも広めたいものです。

区民運動会への協力

十月二日(日)

頭上には数えきれない程の万国旗が初秋の風に揺れ、スピーカーからは、場を盛り上げる音楽とアナウンスが流れる中、松ヶ崎小学校の校庭にて、体育振興



会主催の区民運動会が開催されました。多数の大人・子どもたちが一堂に集まり、愉快な競技を体育振興会の役員の皆様との進行のもとで行われ、参加者の皆さんは沢山の賞品を手にし、楽しんでいらつしやいました。

我々社協役員は、売店の担当として、朝からジュース、パン、おにぎり売りをお手伝いしました。終盤には何とすべて完売！一日を心ゆくまで楽しめました。

カラオケ大会

十二月十五日(木)

比叡山に本格的な冬の到来を知らせる初雪が降ったこの日、年末恒例のすこやか学級のカラオケ大会がアピカルイン京都で開催されました。約三十名のど自慢、歌好きの方々が参加されました。午前十一時、「今年も残り少なくなりましたが、ここで大いに歌って日頃の憂さを晴らして、新しい年に向かって英気を養ってください」との関口会長の開会挨拶で開宴。早速、演歌「酔歌」から、元氣よく歌が始まりました。こぶしのきいた歌、低音でソフトに囁くように歌われる方もあり、お部屋いっぱいにあふれるほどの音量で歌われる方、キーが合わなくて途中で機械を調整していただく場面もありました。いろいろな歌を次々に皆さん情感たっぷりに本当に上手に歌われるので、聴きながら感動のあまり、ハンカチでそっと涙を拭いていた人もいました。お昼、それまでシーンと聞き惚れていた会場は、美味しいお食事とおし



ヤベリで一転して和やかに、賑やかにになりました。午後の部はお腹を満たしてもう一度順番に歌っていただきました。しかし、楽しい時間はあっという間に過ぎ、歌いおさめは司会をして下さった大原包括支援センターの棚倉さんの「北国の春」でした。すこやか体操でゆつくり体をほぐして散会になりましたが関口会長の言葉通り大いに歌って大いに聞いて、ストレスをしっかりと発散し年末の何かと忙しい中、楽しい一時を過ごして頂けたのではないでしょうか。

松ヶ崎児童館

新春お楽しみ会

一月二十一日(土)

世代間交流行事として定着したこの行事は、乳幼児から高齢の方まで参加し、学童クラブの発表や人形劇の鑑賞、お昼にはお餅を、食べて笑って新しい年を迎えましょうという催しです。前夜までの雨も何とか上がり、朝早くから先生やお手伝いの方々のお蔭で準備万端整いました。松ヶ崎小学校の池田校長先生や北川教頭先生も出席、大勢の御父兄や子供達でいっぱいのお部屋で関口会長の「お餅は古代か

ら、子供の誕生などの晴れの儀式に多く供されています。今日のお餅をたくさん食べて今年も健やかに過ごしていただきます様に」との開会のご挨拶がありました。引き続きおそろいの黄色い学童クラブのシャツを着た児童達が前後二列にならび、手話と「虹の歌」の発表です。まず手話のクイズが出され解説があつて歌に入りました。一つ一つの手話を丁寧に声もそろって右手の親指、人差し指、中指を立てて腕を左胸から右に大きく輪を描くように伸ばす。虹の動作も、空に虹が出るよ」と歌いながら全員で腕をいっせいに伸ばすと本当にかわいい虹がかかっているようでした。聞いている皆さんからは沢山の拍手が送られました。お昼には、各自持参のお碗、お箸、お茶を持って、大人も子供も用意されているお雑煮、ぜんざい、おしょうゆ、きなこのおもちに向かいました。友達同士競うように食べている子もいますし食べながらも次の列に並んでいる子も。お友達とゆつくり座って食べている子も嬉しそうです。外ではお日様も顔をのぞかせお餅つきも始まっています。食中毒を懸念してお餅は市販のものを食べて貰いお餅つきはデモンストレーションのみと云うのが残念でしたが、希望する子にはお餅をついてもらいました。



ずらつと列が出来たので十回ついで交代にしました。またやりた〜い」と先生にお碗とお箸を預けて何度も挑戦をする力自慢の子も。午後の部が始まるころにはみんなお腹もいっぱいの様子で、お餅も全部売り切れしました。午後一時からはまたお部屋に戻り、「ファミリーひみちやたい」による古典落語人形劇「夏の医者」を鑑賞しました。ひみちやたいの男女お二人が、大きな紙芝居の様なセットの中で演じられました。お人形のしぐさも可愛らしく、またぬいぐるみの大きなうわばみは迫力あつて、子供たちは引き込まれるように見ていました。まだ所々に先日降った雪が残っていますがこの寒さの中、子供たちは元気いっぱい歌って食べて遊んで笑って、もちろん大人の方々も子供達と一緒に今日一日を楽しんで頂けたことと思います。やっと明るくなった日差しの中散会となりました。

松ヶ崎子育てサロン

二月六日(月)

今月は特別に、松ヶ崎児童館と共催で、サロン中の三十分間、人形劇サークル「ムクムク」による人形劇鑑賞の時間をおもちました。ひよこ、ぶた、いぬ、ねこ、にわとり、いもむし、蝶々など、いろんな動物や昆虫がぬいぐるみやペープサートで登場しました。三人のスタッフの方たちのみごとな演出に、見学者も含めて、総勢七十名ほどが、なごやかな楽しい時をおもちました。

すこやか学級

十一月十四日(月)

色鮮やかに輝く山々に囲まれた松ヶ崎小学校にて十一名の参加者をお迎えし開催されました。午前中は血圧測定をし、お誕生日の方をお祝いし、田中看護師による健康講話では「糖尿病」についてクイズ形式で分かりやすく説明していただき、日常の生活習慣のちよつとした運動、食事の見直しをしました。

工作では、平成二十九年度の「酉年」にちなんで、鶏とひよこの製作をしました。予め先生方に準備していただいた材料を用いるので、容易に製作でき、ふかふかの巣箱に入っている完成品の鳥たちの出来は可愛いこと。素敵なお正月飾りに仕上がりました。

お昼には美味しい「ちらし寿司」のお弁当を頂き、お菓子とお茶で語らい、午後の部へ。五年生の児童たちにエスコートしてもらい音楽室に移動。可愛い頼もしいエスコート振りは大変微笑ましく、数十年ぶりの校舎内見学には懐かしい思い出が呼び起されました。

音楽室では五年生による「BANANA」と「どんだん打ってけ」の歌と太鼓の発表を聞きました。広い音楽室では



児童たちの思い切りの元気の良い歌声と全身に響き渡る力強い太鼓の音色に、一同は子どもからの漲るパワーと感動をもらいました。発表終了後には、「皆さんの前で発表出来て嬉しかったです。ご一緒しましょう」と。五年生に教わりながら太鼓と一緒に叩いて楽しいひと時を過ごしました。五年生のみなさん素晴らしい発表のご披露をありがとうございました。皆さんと一緒に太鼓を打つ経験、楽しく、また嬉しく思いました。

本日のすこやか学級も歌あり、クイズあり、体操あり、そして笑いあり感動ありのプログラムでした。皆さんに楽しく過ごしていただき、可愛い作品を手を終了いたしました。

三月三日(金)

今年度最後のすこやか学級は、お二人の新しい参加者をお迎えして始まりました。十一時、関口会長の挨拶に始まり、いつものように歌・ゲーム・血圧測定・工作と変化に富んだプログラムで和やかなひと時を過ごして頂きました。

今回の「健康講話」は、京都博愛会病院の花田智美看護師長による「高齢者の転倒」でした。転倒を予防するにはまず、▲定期的に運動する(ゆつたりとした動作の太極拳なども好いそゆうです)。▲座っていたり、横になっている状態からは、脳の指示が鈍っているのです、ゆつくりと立ち上がり、時間をおいてから動き始める。▲服用しているお薬があれば、医者に転倒の恐れの有無を相談する。▲外出時はできるだけヒールの低い靴を用いる。▲室内

内はできるだけ明るくする。▲玄関マット等の小型の敷物は滑り止めのついたものを用いる。▲滑りやすい床は要注意。▲電気コード、延長コード

は通路に置かない。▲段差のある歩道や壊れた縁石に注意する。そして、万が一転倒した場合は、①這って、倒れないしつかりとしたものを支えにゆつくりと立ち上がる。②日頃から、電話は転倒した時の連絡のため、下の方に設置しておくのがよいとのこと。こうしたこと転倒予防の心得としたものです。

午後からは、卒業を前にした小学校の六年生全員が、リコーダーとピアノで「コンドルは飛んでゆく」を演奏してくれました。演奏の前に、「僕たち六年生は、最高学年として、松ヶ崎小学校をまとめられるよう努力を積み重ねてきました。今日は僕たちの演奏を聴いて下さい」と。何と六年生になればこのような立派な挨拶ができるのかと感心させられました。

今回も終始、吉田乃里子・井栗康子両先生の手作りによる学級では、皆さんのおしゃべりがあり、笑いあり、楽しく一日を過ごされました。

次回は五月です。又多くの御参加を役員一同心待ちにしております。



地域子育てステーション事業

十一月二十九日(火)

今回のテーマは、「絵本の世界を楽しもう！」。

地域の乳幼児の親子さん達を対象に子ども絵本専門店、「きんだあらんど」店長の蓮岡修氏をお迎えし「年齢に合った絵本の紹介、選び方」の講演を聞きました。年齢に応じ選び方も変化していきます。例えば、子どもの目にも早く飛び込む色、形や読み手の声、さらに日本語のリズムを楽しむ絵本から基本的な自立に向けた心理関係作りに向けた学びの絵本。そして、完成、想像力を育む絵本。また、その年齢に応じた絵本の役割と子どもが主体的に「面白い」と感じるまでのたくさん絵本を紹介していただきました。そのあと、カーペットの上に移動し、先生と乳幼児の親子さんと一緒に座り実際の読み聞かせの構えで「絵本の読み聞かせの実演」をしていただきました。「複式呼吸を使い子どもに安心する声で絵本を介し、スキンシップの時として心身両方の安定、成長を願うゆつたり読んであげましょう」また、「子育てが楽しくなる絵本があります」と教えていただきました。

共催させていただいた当会員も絵本の役割を学び、ファンタスティックな絵本の世界に引き込まれ楽しみました。

副報 顧問 林久雄先生

当会の役員、そして顧問として平成

八年の設立当初より主導して頂いた林久雄先生が昨年十二月二十四日、泉下の人となられた。行年九十歳。先生は長年教員として小学校教育に尽力され、松ヶ崎小学校においても、昭和二十七年から五年間教鞭を執られた。教員退職後も教育委員会等において教育行政に携わられた。また、松ヶ崎小学校における土曜学習においても漢字教室を行われ、地域教育に多大なる足跡を残された。こうした功績から、平成二十七年、瑞宝双光章を授与されている。

当会においては、「社協だより」や「すこやか学級」を積極的に盛り上げて頂き、殊に「すこやか学級」における滋味あふれる毎回の御挨拶は、その場を和ませるための不可欠の要素であった。正に当会における精神的支柱としての先生を失ったことは多大なるダメージを伴うものであります。ただ、これも試練と受け止め、先生のご遺志に背かぬよう会を運営することが、残された者の使命と心得、ここに改めて先生の御冥福をお祈りいたします。



編集委員

- 関口 力
- 岩崎 洋子
- 梅原 慈子
- 古谷 佐代子
- 岩崎 禎子

印刷所
有限会社 章美プリント
〒601-8441
京都市南区西九条南田町41
TEL 075-691-1624